

中林梧竹

— デザイン性あふれる金文



主に明治時代に書家として活躍し、現代にも通じる芸術的な作品を残した「明治の三筆」の一人、中林梧竹(1827〜1913年)。当館所蔵の梧竹作品約380点のうち、青銅器などに施された文字「金文」を題材にした作品22点を展示し、梧竹のデザイン性豊かな世界を紹介します。

「周 父丁彝銘の臨書」(丙大君卿/視酉君賡/乃乃所貝用/作 八十隻梧竹)

2023年 6月13日(火)～9月24日(日)

【会場】 3階 書道美術常設展示室

【展示解説】 7月29日(土)、8月24日(木) 各11時～11時30分 * 申込不要、観覧券必要

講師 松山佳代 (当館学芸員)

【開館時間】 9時30分～17時 【休館日】 月曜日。ただし7月17日(月・祝)、8月14日(月)、9月18日(月・祝)は開館し、7月18日(火)、9月19日(火)は休館。【観覧料】 一般 310円(250円)、高校・大学生 200円(160円)、小・中学生 100円(80円)。()内は20人以上の団体割引料金。小・中・高校生は土・日・祝日と夏・秋休み期間中は無料。高齢者(65歳以上)と各障がい者手帳をお持ちの方は半額。

